

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の発行にあたって

城 和 貴†

IT が国家戦略として位置づけられている今日、社会の情報化はドッグ・イヤーで進展し、多様な技術の急速な進歩や学際的な分野の急激な拡大に対処するために、情報処理学会では研究会を主体とした論文誌 (Transaction) を発刊しております。平成 10 年 1 月にはプログラミング研究会を母体とする PRO (transaction on PROgraming) ならびに本研究会を母体とする TOM (Transaction On Mathematical modeling and its applications) が、同年 6 月にはデータベース研究会ならびに情報学基礎研究会を母体とする TOD (Transaction On Database) が、平成 11 年 11 月にはハイパフォーマンスコンピューティング研究会、計算機アーキテクチャ研究会、システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会を母体とする HPS (transaction on High Performance computing Systems) が、平成 12 年 1 月にはコンピュータビジョンとイメージメディア研究会を母体とする CVIM (transaction on Computer Vision and Image Media) が、それぞれ刊行され現在に至っております。

本論文誌は第 1 号 (Vol.40, No.SIG 2 (TOM1)) を平成 11 年 2 月に、続いて第 2 号 (Vol.40, No.SIG 9 (TOM2)) を同年 12 月、第 3 号 (Vol.41, No.SIG 7 (TOM3)) を平成 12 年 11 月、第 4 号 (Vol.42, No.SIG 5 (TOM4)) を平成 13 年 5 月に発行し、この第 5 号 (TOM5) の発行に至りました。

本論文誌の最大の特長の 1 つは、その対応の迅速性にあり、よく磨き上げられた優れた投稿論文であれば、投稿から 1 カ月足らずで採録決定にまで至ることも可能です。逆に、論文として十分に推敲がなされていないけれども内容に光るものがある投稿は、単に不採録として機械的に処理するのではなく、『再投稿を強く勧める不採録』という形で、再投稿・再々投稿を勧め、最初の投稿から 1 年以上かかった採録という例もあります。『良い論文をできるだけ多く』と

いう編集方針に従い、きめ細やかな編集作業が行われているのは、白石編集委員長以下の編集委員、査読者の方々の並々ならぬ用意周到な準備のもとでの任務遂行の努力により初めて可能となっているものです。ここに、常日頃多大のご尽力をいただいております関係各位に、改めて厚く御礼申し上げます。本論文誌および本研究会に関しての随時の最新詳細は、ぜひ Web ページ <http://www.ipsj.or.jp/sig/mps/TOM/>, <http://www.ipsj.or.jp/sig/mps/> をご覧ください。

本論文誌発行を契機に、本研究会の活動自体も活性化しております。本研究会登録者数も研究会での発表件数も増加の一途をたどり、しばしば 1 日の研究会開催ではさばき切れないほどの申込みがあり、運営側としては嬉しい悲鳴をあげております。これにともない、本論文誌投稿に連動した研究会口頭発表に対する質疑応答も一層熱のこもったものとなり、本論文誌の質の向上に大きく寄与しています。

また、本研究会では、International Conference on Parallel and Distributed Processing Techniques and Applications (PDPTA) のテクニカル・セッション “Mathematical Modeling and Problem Solving” との共催 (米国ラスベガス) を行っています。これは 2000 年度の第 30 回、2001 年度の第 35 回と連続して開催しており、非常に好評であるため来年度以降も継続して行う予定であります。特に第 30 回の共催からは、2001 年度の山下記念賞受賞講演が出るなど、内容的にも通常の研究会よりも質の高い研究発表が行われています。また、第 35 回では城が PDPTA より Achievement Award を受賞いたしました。

今後も、本論文誌の一層の国際化、新規数理モデル分野への進展に対し、これから大いに寄与していくことを期待しています。今後とも本論文誌に対し、これまでと同様、皆様方からの暖かいご支援とご鞭撻をたまわりますよう、心よりお願い申し上げます。

† 情報処理学会「数理モデル化と問題解決研究会」主査
奈良女子大学